



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社 アサックス

上場取引所 東

コード番号 8772 URL <http://www.asax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 庸文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務統括部長 (氏名) 島田 博

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 平成26年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,221	5.6	2,659	13.9	2,662	13.8	1,556	12.9
25年3月期第3四半期	3,997	△4.1	2,335	△5.7	2,339	△6.0	1,377	0.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	141.57	—
25年3月期第3四半期	125.34	—

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益の金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	56,647	24,116	42.6
25年3月期	59,341	22,889	38.6

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 24,116百万円 25年3月期 22,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,388	0.1	3,122	1.8	3,123	1.7	1,803	0.2	164.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,993,500 株	25年3月期	10,993,500 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,500 株	25年3月期	1,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	10,992,000 株	25年3月期3Q	10,992,000 株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和政策を背景として円高是正と株価上昇が進行し、企業収益の回復と高額品を中心として個人消費の改善が見られるなど、堅調な推移となりました。

一方、海外経済においては、欧州や新興国の減速や政治不安による不透明感が払拭できない状況が続いており、国内でも消費税増税による影響が懸念されるなど、景気の動向について引き続き留意する必要があります。

不動産金融市場におきましては、回復基調の国内景気を背景として不動産の流動性が堅調に推移しておりますが、2020年の東京オリンピック開催が決定したこと等により都心の一部の地価や建設費に加熱した動きが見られます。

このような環境の下、当社におきましては、国内景気の回復に伴い、顧客獲得競争が激化していることから、従来通り「債権の健全性」を重視しつつも、キャンペーンの実施等により積極的な顧客開拓を行ってまいりました。

その結果、第2四半期より増加に転じた営業貸付金残高は、当第3四半期会計期間における新規貸出額が回収額を1,961,077千円上回ったことにより、当第3四半期会計期間末における営業貸付金残高は、前事業年度末の53,518,149千円から422,059千円増加の53,940,208千円となりました。

当第3四半期累計期間における経営成績は以下の通りであります。

営業貸付金利息は、前年同四半期と比較して平均貸出利率が低下したものの、期中平均営業貸付金残高が前年同四半期比4.7%増となったことや、不良債権の回収による収入を計上したことにより、前年同四半期比86,637千円(2.6%)の増加となりました。その他の営業収益は、期中回収額が前年同四半期比23.6%増となったことによる解約違約金の増加と、保証収益の増加が主因となり、前年同四半期比136,988千円(19.9%)の増加となりました。

以上により、当第3四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比223,626千円(5.6%)の増加となりました。

金融費用は、平均有利子負債残高が前年同四半期比増加となったものの、平均調達金利が低下傾向にあることや、前年同四半期において資金調達に係る初期費用の計上があったこと等により、前年同四半期比69,631千円(10.8%)の減少となりました。

その他の営業費用は、役員退職慰労引当金繰入額が前年同四半期比17,513千円(75.8%)の減少、退職給付費用が前年同四半期比26,014千円(88.8%)の減少となったこと等により、前年同四半期比63,292千円(6.6%)の減少となりました。

以上により、当第3四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比100,220千円(6.0%)の減少となりました。

営業外損益は利益に大きな影響を与えるものではなく、特別利益は固定資産売却益の減少により前年同四半期比10,435千円(87.0%)の減少となり、また、法人税等合計は前年同四半期比134,141千円(13.8%)の増加となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、営業利益は2,659,548千円(前年同四半期比13.9%増)、経常利益は2,662,603千円(同13.8%増)、四半期純利益は1,556,236千円(同12.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の58,114,694千円から2,690,810千円(4.6%)減少の55,423,884千円となりました。これは主として、現金及び預金が2,779,408千円(67.9%)の減少となったこと等によるものであります。

固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の1,227,268千円から3,256千円(0.3%)減少の1,224,011千円となりました。これは主として、社有車の取得等により有形固定資産が7,267千円(6.0%)の増加、投資その他の資産が破産更生債権等の減少と保証金の増加等により7,521千円(0.7%)の減少となったこと等によるものであります。

② 負債の部

流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の17,904,961千円から4,463,733千円(24.9%)減少の13,441,227千円となりました。これは主として、短期有利子負債が4,101,665千円(24.3%)の減少となったこと及び未払法人税等が293,403千円(38.4%)の減少となったこと等によるものであります。

固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の18,547,063千円から543,189千円(2.9%)増加の19,090,253千円となりました。これは主として、長期有利子負債が531,293千円(3.0%)の増加となったこと等によるものであります。

③ 純資産の部

配当金の支払い329,760千円があった一方、四半期純利益を1,556,236千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比1,226,476千円(6.0%)の増加となり、当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の22,889,937千円から1,226,476千円(5.4%)増加の24,116,414千円となりました。なお、自己資本比率は42.6%(前事業年度末は38.6%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績は、平成25年4月24日発表の業績予想を上回る水準となりましたが、「(1) 経営成績に関する説明」に記載いたしました通り、特殊な要因における営業収益の増加が主因となったことによるものであり、また、営業貸付金残高が、前事業年度末比0.8%の増加に止まっていること、平均貸出利率が依然として低い水準で推移していること等を勘案し、通期業績予想につきましては、平成25年4月24日に発表いたしました業績予想からの変更は行いません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,093,760	1,314,352
営業貸付金	53,518,149	53,940,208
販売用不動産	96,209	29,822
前払費用	45,692	40,166
繰延税金資産	118,176	98,357
その他	430,005	190,076
貸倒引当金	△187,300	△189,100
流動資産合計	58,114,694	55,423,884
固定資産		
有形固定資産	120,595	127,862
無形固定資産	26,813	23,810
投資その他の資産		
破産更生債権等	70,780	22,003
その他	1,040,678	1,072,234
貸倒引当金	△31,600	△21,900
投資その他の資産合計	1,079,858	1,072,337
固定資産合計	1,227,268	1,224,011
資産合計	59,341,962	56,647,895
負債の部		
流動負債		
短期借入金	13,617	—
1年以内返済予定の長期借入金	14,512,269	12,764,222
1年内返済予定の関係会社長期借入金	2,340,000	—
未払金	51,296	41,673
未払費用	57,822	56,083
未払法人税等	763,185	469,781
預り金	24,149	28,895
前受収益	109,410	65,619
賞与引当金	21,115	2,950
利息返還損失引当金	11,600	12,000
その他	493	2
流動負債合計	17,904,961	13,441,227
固定負債		
長期借入金	17,516,418	17,617,711
関係会社長期借入金	—	430,000
役員退職慰労引当金	1,004,113	1,009,713
退職給付引当金	25,500	28,100
その他	1,032	4,728
固定負債合計	18,547,063	19,090,253
負債合計	36,452,024	32,531,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	20,583,339	21,809,816
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	22,889,937	24,116,414
純資産合計	22,889,937	24,116,414
負債純資産合計	59,341,962	56,647,895

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益		
営業貸付金利息	3,310,758	3,397,395
その他の営業収益	686,659	823,648
営業収益合計	3,997,417	4,221,043
営業費用		
金融費用	646,282	576,651
売上原価	61,306	94,009
その他の営業費用	954,127	890,835
営業費用合計	1,661,716	1,561,495
営業利益	2,335,700	2,659,548
営業外収益		
受取利息	175	219
受取手数料	148	132
償却債権取立益	1,351	1,180
雑収入	2,356	1,523
営業外収益合計	4,032	3,055
経常利益	2,339,733	2,662,603
特別利益		
固定資産売却益	11,991	1,556
特別利益合計	11,991	1,556
特別損失		
固定資産除却損	218	100
特別損失合計	218	100
税引前四半期純利益	2,351,506	2,664,059
法人税、住民税及び事業税	953,745	1,084,645
法人税等調整額	19,936	23,177
法人税等合計	973,682	1,107,823
四半期純利益	1,377,824	1,556,236

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。